

機械設備定期点検(1)

点検月 平成 28 年 4 月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果				
原水調整設備	調整槽	調整槽ポンプ	浮遊物除去	6	—	高度処理設備	砂ろ過塔	洗浄工程確認	月	○	
			本体付着物除去	年	—			空洗タイマー設定値(分)	月	○	
			潤滑油交換	年	—			逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
			外観	年	—			空気弁動作確認	月	○	
			プロペラ確認	年	—			No.1 活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○
	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	逆洗タイマー設定値(分)	月		○				
	原水槽	No.1原水ポンプ	浮遊物除去	6	—		空気弁動作確認	月	○		
			フロートスイッチ動作	6	—		No.2 活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○	
			本体付着物除去	年	—			逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
			潤滑油交換	年	—		空気弁動作確認	月	○		
			外観	年	—		ゼオライト原水ポンプ	本体付着物除去	年	—	
	潤滑油交換	年	—	潤滑油交換	年			—			
	外観	年	—	外観	年			—			
	揚水計量槽	No.2原水ポンプ	本体付着物除去	年	—		プロペラ確認	年	—		
			潤滑油交換	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
外観			年	—	消毒槽	浮遊物除去	6	—			
プロペラ確認			年	—		浮遊物除去	6	—			
キャブタイヤケーブル絶縁			年	—		フリクトスイッチ動作確認	6	—			
揚水計量槽	汚泥等の堆積	月	○	本体付着物除去		年	—				
槽内清掃	月	○	潤滑油交換	年		—					
生物処理	第一PH調整槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	—	放流槽	No.1処理水移送ポンプ	外観	年	—	
			プロペラ確認	年	—			プロペラ確認	年	—	
			トラフの損傷、越流状況	月	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
	第一沈殿池	掻寄機	浮遊物の除去	月	○			No.2処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—
			グリソ補充	6	—				潤滑油交換	年	—
	第一汚泥ピット	返送汚泥ポンプ	本体付着物除去	年	—		外観		年	—	
			潤滑油交換	年	—		プロペラ確認		年	—	
			外観	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁		年	—	
			プロペラ確認	年	—		浮遊物除去	6	—		
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		1-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
	1槽 散気状態	月	○	潤滑油交換	年			—			
	硝化槽	2槽	散気状態	月	○		外観	年	—		
			3槽 散気状態	月	○		プロペラ確認	年	—		
			4槽 散気状態	月	○		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
	脱窒素槽	1槽	散気状態	月	○		1-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
水中攪拌機攪拌状況			月	○	潤滑油交換	年		—			
オイル交換(業者)			年	—	外観	年		—			
2槽 水中攪拌機攪拌状況			月	○	プロペラ確認	年		—			
オイル交換(業者)			年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年		—			
再曝気槽	循環ポンプ	散気状態	月	○	2-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—			
		本体付着物除去	年	—		潤滑油交換	年	—			
		潤滑油交換	年	—		外観	年	—			
		外観	年	—		プロペラ確認	年	—			
		プロペラ確認	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
凝集沈殿	第二PH調整槽	攪拌機	散気状態	月	○	処理水貯留槽	2-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
			本体付着物除去	年	—			潤滑油交換	年	—	
	脱気槽	攪拌機	潤滑油交換	年	—			外観	年	—	
			電磁弁動作確認	月	○			プロペラ確認	年	—	
	混和槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
			プロペラ確認	年	—		3-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
	凝集槽	No.1攪拌機	回転部スケール除去	年	—			潤滑油交換	年	—	
			プロペラ確認	年	—			外観	年	—	
	第二沈殿槽	No.2攪拌機	回転部スケール除去	年	—			プロペラ確認	年	—	
			プロペラ確認	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
トラフの損傷、越流状況			月	○	4-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—			
掻寄機	浮遊物の除去	月	○	潤滑油交換		年	—				
中和槽	攪拌機	グリソ補充	6	—		外観	年	—			
		回転部スケール除去	年	—		プロペラ確認	年	—			
高度処理設備	ろ過原水槽	ろ過原水ポンプ	プロペラ確認	年		—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
			浮遊物除去	6	—	4-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—		
			フリクトレベルスイッチ動作	6	—		潤滑油交換	年	—		
			本体付着物除去	年	—		外観	年	—		
			潤滑油交換	年	—		プロペラ確認	年	—		
	外観	年	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年		—				
	プロペラ確認	年	—								
	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—								

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考 4/26 汚泥貯留槽攪拌ブロワーベルト劣化のため交換(A-39 1本)

機械設備定期点検(2)

点検月 平成 28 年 4 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名		点検項目		周期	点検結果	
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○		
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○		
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引ろ過器詰め物点検	月	○		
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○		
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○		
			タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	6	—		
		凝集助剤A	ストレーナー清掃	月	○			吸引ろ過器詰め物交換	年	—		
			タンク内部確認	年	—			タンクの清掃点検	年	—		
			凝集助剤B	ストレーナー清掃	月		○	本体付着物除去	6	—		
	薬品注入ポンプ	メタノール	潤滑油交換	6	—		第二汚泥ピット	排泥ポンプ	潤滑油交換	年	—	
		No.1苛性ソーダ	潤滑油交換	6	○				外観	年	—	
		No.2苛性ソーダ	潤滑油交換	6	○				プロペラ確認	年	—	
		No.3苛性ソーダ	潤滑油交換	6	○				キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月		○	汚泥濃縮槽	濃縮汚泥ポンプ	浮遊物除去	6	—
			塩化第二鉄	実量測定(ml/分)	月		○			本体付着物除去	6	—
りん酸			実量測定(ml/分)	月	○	潤滑油交換	年			—		
凝集助剤			実量測定(ml/分)	月	○	外観	年			—		
ブロウ設備	No.1曝気ブロウ	温度	3	—	給排水設備	床排水	床排水ポンプ	散気管確認	6	—		
		安全弁動作	3	—				フリクトレベルスイッチ動作	6	—		
		各接合部締付	3	—				浮遊物除去	6	—		
		Vベルト張り状態	3	—				本体付着物除去	6	—		
		ベアリンググリス交換	6	—				潤滑油交換	年	—		
		ギヤオイル交換	6	—				外観	年	—		
		No.2曝気ブロウ	Vベルト交換	年		—	プロペラ確認	年	—			
			圧力計交換	年		—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
			吸込フィルタ清掃	年		—	浮遊物除去	6	—			
			温度	3		—	本体付着物除去	6	—			
			安全弁動作	3		—	潤滑油交換	年	—			
			各接合部締付	3		—	外観	年	—			
		No.3曝気ブロウ	Vベルト張り状態	3		—	プロペラ確認	年	—			
			ベアリンググリス交換	6		—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
			ギヤオイル交換	6		—	浮遊物除去	6	—			
	Vベルト交換		年	—	本体付着物除去	6	—					
	圧力計交換		年	—	潤滑油交換	年	—					
	吸込フィルタ清掃		年	—	外観	年	—					
	原水槽攪拌ブロウ	原水槽攪拌ブロウ	温度	3	—	第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	浮遊物除去	6	—		
			安全弁動作	3	—			本体付着物除去	6	—		
			各接合部締付	3	—			潤滑油交換	年	—		
			Vベルト張り状態	3	—			外観	年	—		
			ベアリンググリス交換	6	—			プロペラ確認	年	—		
			ギヤオイル交換	6	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
		汚泥貯留槽攪拌ブロウ	Vベルト交換	年	—	PH計	第一PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05		
				圧力計交換	年			—	KCL確認、補充	月	○	
				吸込フィルタ清掃	年			—	電極の清掃及び校正	月	○	
			安全弁動作	3	—		硝化槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	8.15-8.25		
				Vベルト張り状態	3			—	KCL確認、補充	月	○	
				ベアリンググリス交換	6			—	電極の清掃及び校正	月	○	
ギヤオイル交換			3	—	第二PH調整槽		設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55			
			ベアリンググリス交換	6			—	KCL確認、補充	月	○		
			Vベルト交換	年			—	電極の清掃及び校正	月	○		
フィルタエレメント交換	年	—	混和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45						
	安全弁動作	3		—	KCL確認、補充	月	○					
	Vベルト張り状態	3		—	電極の清掃及び校正	月	○					
空洗ブロウ	空洗ブロウ	安全弁動作	3	—	中和槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85				
		Vベルト張り状態	3	—		KCL確認、補充	月	○				
		ベアリンググリス交換	年	—		電極の清掃及び校正	月	○				
ギヤオイル交換	年	—										
Vベルト交換	年	—										
フィルタエレメント交換	年	—										

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

電気設備定期点検(1/2)

点検月 平成 28 年 4 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロウ	1	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2曝気ブロウ	2	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3曝気ブロウ	3	電流値(A) : 170A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
原水槽 攪拌ブロウ	4	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
余剰汚泥ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
床排水ポンプ	14	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	6	0.07		0.05	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞		∞	○
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	6	—		—	—
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	—		—	—
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	6	0.87	0.85	0.95	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	25	25	25	○
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	6	0.88	0.85	0.95	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	6	0.86	0.87	0.93	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	6	0.87	0.87	0.94	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	30	30	30	○
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	6	0.85	0.86	0.91	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	6	0.86	0.86	0.90	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	6	0.85	0.86	0.93	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
第一PH調整槽 攪拌機	24	電流値(A) : 2.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 9.89A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 7.38A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします。
 判定の基準は、電流値については定格値以下であること、絶縁抵抗値については0.2MΩ以上とします。

電気設備定期点検(2/2)

点検月 平成 28 年 4 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	6	0.87	0.85	0.92	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二沈殿槽 掻寄機	41	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.2凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空洗ブロウ	46	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
汚泥貯留槽 攪拌ブロウ	47	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	電流値(A) : 3.5A	6				
		電流値(A) : 3.5A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二雑排水 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-1放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-2放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-1放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-2放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-1放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-2放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-1放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-2放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします

備考 りん酸注入ポンプは単相のため電流値はR相とT相となります、また電磁ポンプのため電流値は電動機より小さくなります。
メタノール注入ポンプは仮設のため、測定実施しておりません。